

## ■伝統工芸品バイヤーの招聘

9月中旬、シンガポールで日本の伝統工芸品の輸入・販売を行う「HULS (ハルス)」を石川県に招聘し、県内の伝統工芸品の産地への訪問および商談を行いました。

同社はシンガポールの中心部に自社のギャラリーを構え、漆器や陶磁器などのテーブルウェア商品を中心に、日本各地の伝統工芸品を多数販売しています。また、レストランやホテルなどに対する業務用商品の販売や、日本の伝統工芸品の情報を海外に発信するオンラインメディア「KOGEI STANDARD」の運営も行っています。

同社の柴田社長は、前職でWEBデザイナーの経験があったことから、その経験を活かし、2016年に「KOGEI STANDARD」を立ち上げましたが、それを見た客から商品を買いたいという問い合わせが多く寄せられたことを受け、翌年、日本の伝統工芸品を海外で販売する「HULS」の事業を立ち上げ、ギャラリーをオープンさせました。今は2店舗のギャラリーに加え、百貨店のテーブルウェアコーナーにも専用の売場を持つほか、ミシュラン星付きのレストランや、マリーナベイサンズなどのラグジュアリーホテルとも取引があり、業界のトップランナーとして大きな存在感を放っています。私も打ち合わせなどで何度かギャラリーを訪れていますが、シンガポールのメガバンクの会長や、ミシュランスターシェフといった著名な方々が来店されるのを度々目にしており、同社の持つネットワークに毎回驚かされています。

柴田社長にお伺いすると、最近の伝統工芸品の需要の傾向としては、ファインダイニング(コース料理の高級レストラン)からの引き合いが非常に増えているそうです。理由としては、SNSの普及により写真が広く拡散されるようになったことから、器にこだわるシェフが増えたことや、コースメニューの一皿の分量を減らし品数を増やす傾向にあるため、用意する器の種類が増えていることが挙げられます。そうしたことから、HULSではレストラン向けの卸売に非常に力を入れているそうです。

一方、個人客からは、酒器やマグカップの人気の高いです。主にギフト用として購入される方が多く、例えば引っ越し祝いやホームパーティにおいて、日本ではお菓子などの食品を持っていくことが多いですが、シンガポールでは物を持っていくことが多く、そのような場面でよく日本の伝統工芸品が選ばれるようです。

今回の石川県への訪問の際も、これらの商品を中心としたご商談となりました。訪問先の企業は、金属製のカトラリーが使用可能でレストランでも使いやすい漆器や、乾漆と呼ばれる技法を用いることで独特の形を表現した酒器など、各社のこだわりのある商品を積極的に提案していました。中にはHULSから非常に高い評価をいただき、早速発注につながったものもあれば、「酒器とセットで提案できるようなお盆もあるといい」、「マグカップは日本よりも大きいサイズの方が好まれる」、といったアドバイスもいただき、各社の今後の海外展開に向けて、非常に有意義な商談になったのではないかと感じました。

今後もこうした現地で影響力のある事業者との連携を密にし、その知見やネットワークを活用していくことで、県産品の販路拡大にしっかりと繋げていきたいと思っています。



バイヤー招聘の様子



HULS のギャラリー

### ■METALEX VIETNAM 2023 への出展

10月4日～6日までの3日間、ベトナム最大級の工作機械や金属加工の展示会「METALEX VIETNAM」が開催され、石川県鉄工機電協会がブースを出展しました。同展示会は今年で16回目の開催となり、世界各国から250以上のブースが出展、日本からも石川県の他に新潟県や長野県など、多くの自治体ブースが出展していました。来場者数は約15,000人となり、コロナ後初開催となった昨年よりも増加し、コロナ前の水準に回復したそうです。石川県企業は、鉄工機電協会ブース内に8社が出展し、来場したバイヤーと積極的に商談を行っていました。日本からの出張で出展された企業も多く、中には今回の展示会に合わせて周辺国での営業活動も行った企業いるなど、コロナ前のビジネスの動きが戻ってきているように感じました。

来月には、METALEX がタイでも開催されることとなっており、こちらにもブース出展を予定しています。今後もアフターコロナで活発になった県内企業の海外ビジネスをサポートしていきたいと思えます。



METALEX VIETNAM の会場



石川県ブース